【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和２年９月30日

【中間会計期間】 自　令和２年１月１日　　至　令和２年６月30日

【発行者の名称】 デンマーク地方金融公庫　(KommuneKredit)

【代表者の役職氏名】 最高経営責任者兼マネジング・ディレクター
Jens Lundager

マネジング・ディレクター
Henrik Andersen

【事務連絡者氏名】 弁護士　　黒　丸　博　善

【住所】 東京都港区六本木六丁目10番１号
六本木ヒルズ森タワー23階
ＴＭＩ総合法律事務所

【電話番号】 東京(03) 6438-5511

【縦覧に供する場所】 該当なし

第１【募集（売出）債券の状況】

売出債券の名称	発行年月	券面総額	前事業年度末の未償還額	当該半期中の償還額	当該半期末の未償還額
デンマーク地方金融公庫 2027年７月30日満期 トルコ・リラ建 ディスカウント債券	2012年７月	2,500万 トルコ・リラ	2,500万 トルコ・リラ	0	2,500万 トルコ・リラ
デンマーク地方金融公庫 2020年２月20日満期 円決済型ブラジルレアル建ディスカウント債券	2013年２月	32,460,000 ブラジル レアル	32,460,000 ブラジル レアル	32,460,000 ブラジル レアル	0
デンマーク地方金融公庫 2020年11月24日満期 豪ドル建債券	2013年11月	2,100万 豪ドル	2,100万 豪ドル	0	2,100万 豪ドル
デンマーク地方金融公庫 2021年２月23日満期 豪ドル建債券	2014年２月	600万豪ドル	600万豪ドル	0	600万豪ドル
デンマーク地方金融公庫 2020年１月24日満期 期限前償還条項付 ブラジル・レアル／円為替参照円建債券	2015年１月	29億 5,000万円	29億 5,000万円	29億 5,000万円	0
デンマーク地方金融公庫 2020年２月19日満期 期限前償還条項・円償還条項付 円/豪ドル デジタルクーポン デュアル・カレンシー債券	2015年２月	4億 6,500万円	4億 6,500万円	4億 6,500万円	0
デンマーク地方金融公庫 2020年２月19日満期 期限前償還条項付 ブラジル・レアル／円為替参照円建債券	2015年２月	34億 6,000万円	34億 6,000万円	34億 6,000万円	0
デンマーク地方金融公庫 2020年４月16日満期 期限前償還条項付 ブラジル・レアル／円為替参照円建債券	2015年４月	12億 4,200万円	12億 4,200万円	12億 4,200万円	0
デンマーク地方金融公庫 2020年５月18日満期 早期償還条項付 ブラジルレアル円為替レート連動 デジタル・クーポン円建債券	2015年５月	9億 7,900万円	9億 7,900万円	9億 7,900万円	0
デンマーク地方金融公庫 2020年８月14日満期 早期償還条項付 ブラジルレアル円為替レート連動 デジタル・クーポン円建債券	2015年８月	10億円	10億円	0	10億円 (注)
デンマーク地方金融公庫 2022年８月22日満期 トルコ・リラ建債券	2015年８月	13,000,000 トルコ・リラ	13,000,000 トルコ・リラ	0	13,000,000 トルコ・リラ
デンマーク地方金融公庫 2020年11月25日満期 トルコ・リラ建債券	2015年11月	12,000,000 トルコ・リラ	12,000,000 トルコ・リラ	0	12,000,000 トルコ・リラ
デンマーク地方金融公庫 2020年10月満期 トルコリラ建債券	2017年10月	528,540,000 トルコリラ	528,540,000 トルコリラ	0	528,540,000 トルコリラ
デンマーク地方金融公庫 2020年10月満期 ブラジルレアル建債券（円貨決済型）	2017年10月	75,840,000 ブラジルレアル	75,840,000 ブラジルレアル	0	75,840,000 ブラジルレアル
デンマーク地方金融公庫 2020年10月満期 インドルピー建債券（円貨決済型）	2017年10月	825,900,000 インドルピー	825,900,000 インドルピー	0	825,900,000 インドルピー

デンマーク地方金融公庫 2020年11月30日満期 メキシコ・ペソ建債券	2017年11月	85,000,000 メキシコ・ペソ	85,000,000 メキシコ・ペソ	0	85,000,000 メキシコ・ペソ
デンマーク地方金融公庫 2021年２月３日満期 ブラジル・レアル建債券 （円貨売買型）	2018年１月	68,700,000 ブラジル・レアル	68,700,000 ブラジル・レアル	0	68,700,000 ブラジル・レアル
デンマーク地方金融公庫 2020年４月満期 トルコリラ建債券	2018年４月	121,880,000 トルコリラ	121,880,000 トルコリラ	121,880,000 トルコリラ	0
デンマーク地方金融公庫 2021年４月満期 メキシコペソ建債券	2018年４月	30,300,000 メキシコペソ	30,300,000 メキシコペソ	0	30,300,000 メキシコペソ
デンマーク地方金融公庫 2021年４月満期 ブラジルレアル建債券 （円貨決済型）	2018年４月	204,100,000 ブラジルレアル	204,100,000 ブラジルレアル	0	204,100,000 ブラジルレアル
デンマーク地方金融公庫 2021年４月満期 インドルピー建債券 （円貨決済型）	2018年４月	652,500,000 インドルピー	652,500,000 インドルピー	0	652,500,000 インドルピー

（注）当該債券は2020年７月１日以降本書提出日までに全額が満期償還された。

2020年上半期中において、上記債券の所有者の権利等に重要な悪影響を与える事実は発生しなかった。

第２【発行者の概況】

注(1) 「公庫」とは、デンマーク地方金融公庫を意味する。
(2) 本書中、別段の記載がない限り、「デンマーク・クローネ」または「DKK」と表示される金額はデンマーク王国の通貨であるデンマーク・クローネを意味する。2020年９月24日現在、東京の主要銀行により公表されたデンマーク・クローネに対する日本円の為替相場の中値は１デンマーク・クローネにつき16.54円であった。
(3) デンマーク地方金融公庫の事業年度およびデンマーク王国の会計年度は暦年である。
(4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

１【概況】

–

2020年上半期の業績

2020年上半期は、新型コロナウィルス（COVID-19）およびパンデミック（世界的大流行）が金融市場で引き起こしたボラティリティにもかかわらず、年初の予測に沿って推移した。公庫のビジネスモデルは、金融危機の期間の際と同様に、その価値を証明し、同時に公庫は投資家にとってセーフヘイブン（安全な資金の逃避先）となっていた。

収益および自己資本

2020年上半期において純受取利息は、前年同期から2,900万デンマーク・クローネ減少して２億2,100万デンマーク・クローネとなった。資産合計に対する持分の比率が上昇したことにより、純受取利息を前年の水準に維持する必要は生じなかった。

管理費用は、2019年上半期の6,200万デンマーク・クローネから6,700万デンマーク・クローネに増加した。この増加にもかかわらず、管理費用の年間予測である１億5,000万デンマーク・クローネと比べて低い水準にとどまった。その理由の一つとして、COVID-19のため、2019年年次報告書に記載したような規模で、公庫がその変革プログラムの一環としてのITプロジェクトを開始していないことがある。しかし、公庫は、同年下半期においてタイムロスを取り戻せると見込んでいるため、年間の管理費として１億5,000万デンマーク・クローネの予想を維持している。

当上半期の価値調整前当期利益は１億5,200万デンマーク・クローネとなった。これは前年同期の利益を3,500万デンマーク・クローネ下回っているが、2020年について２億5,000万デンマーク・クローネの価値調整前利益が予想されていたことと比較すると、かかる上半期の業績は同上半期についての予想を上回る。

金融商品の価値調整は、2019年上半期の２億1,800万デンマーク・クローネに対して、2020年上半期には3,500万デンマーク・クローネであった。この価値調整は主にCOVID-19による資金調達コストが限定的ではあったが上昇したことによるものであった。しかしながら、公庫の資金調達コストの上昇は金融市場全般における上昇を下回ったため、公庫はセーフヘイブンとして機能し、資金調達市場が不安定な期間においてその強固かつ安定的なビジネスモデルの強さを改めて実証した。

当期包括利益は、前年同期の３億1,600万デンマーク・クローネに対して、１億4,500万デンマーク・クローネとなった。この減少は主に価値調整の減少によるものであった。当期包括利益は持分に組み入れられ、持分は現在合計83億2,400万デンマーク・クローネに達している。公庫の持分は全額が利益剰余金からなり、このため普通株式等Tier１（CET１）資本は持分に相当する。

公庫の活動を支えるため、持分を少なくとも資産の3.0%にすることが理事会の目標である。公庫の資産合計に対する持分の比率は3.5%であるため、この理事会の目標は達成されている。

自己資本比率（リスク・エクスポージャー総額に対する自己資本の比率）は、2019年12月31日現在の67%から2020年上半期において59%に低下した。この低下はリスク・エクスポージャー額の増加に起因した。

貸付およびリース

2020年上半期に、リースを含めた貸付総額は、2019年末と比べて57億デンマーク・クローネ増加して1,907億デンマーク・クローネとなった。この増加のうち39億デンマーク・クローネは、分割返済額および償還金額を上回って当期中に生じた新規の貸付高およびリース額に起因した。これ以外の増加は価値調整によるものであった。

貸付高（純額）における良好なトレンドは前年同期より強まり、公庫の年間の予想である20億デンマーク・クローネも上回った。かかる良好なトレンドは、デンマーク政府がCOVID-19の関連で2020年についての公的支出の上限を撤廃し、投資の加速を可能にしたことで、公庫の顧客の間で追加の資金需要が誘発されたことによる。同期中、固定金利ローンに対して特に強い需要がみられ、当期中に供与または条件変更されたすべての新規ローンのうち52%に固定金利が付与された。公庫はその120年の歴史において、貸付またはリースにおいて一度も損失を計上したことがなく、2020年上半期もその流れを堅持している。

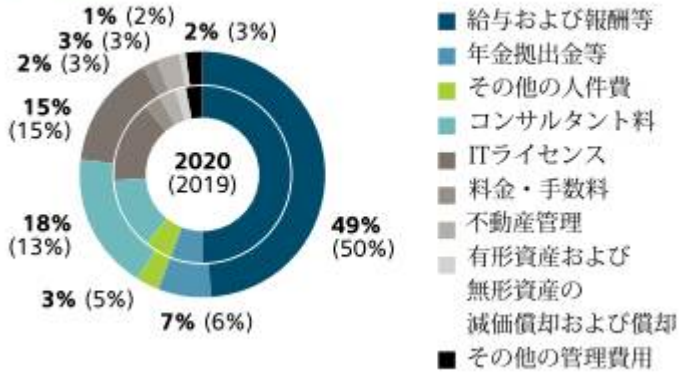
資金調達および投資

資金調達（信用機関への債務および発行債券）は、2019年末と比較して25億デンマーク・クローネ減少した。貸付が増加したにも関わらずこのような状況が発生したが、これは公庫が貸付高（純額）の増加を賄うために証券ポートフォリオを利用したためであった。2020年上半期において資金調達市場は大幅なボラティリティに晒されたため、公庫は貸付の増加を賄うために流動性資金に依存した。2020年上半期、公庫は主に、合計269億デンマーク・クローネにのぼるデンマーク・クローネ、ユーロおよび米ドル建ての公募債発行により資金調達を行った。

公庫は、５年満期の10億米ドルの発行に関連して、総額１億9,100万米ドルの残存期間が12か月未満である未償還のEMTNノートの買戻しを行った。買戻しは、借換えリスクの低減を目的とする公庫の貸借対照表管理戦略の一環である。為替ヘッジ処理前の資金調達残高の大部分は、引き続きユーロ、米ドルおよびデンマーク・クローネ建てである。

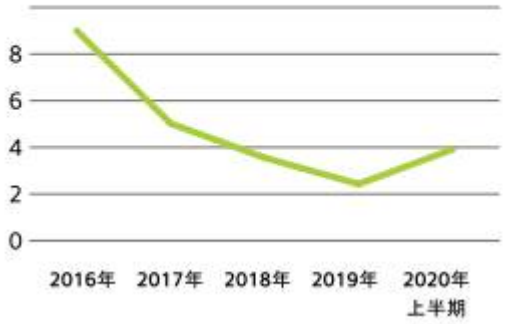
投資総額（信用機関への債権および証券ポートフォリオ）は、2019年末現在の450億デンマーク・クローネから376億デンマーク・クローネに減少した。この減少は、貸付高（純額）の増加を賄うために、新規の債券を発行するより、投資を減少させる方が有利であったためであった。

管理費用



貸付高（純額）の推移

十億デンマーク・クローネ



新型コロナウィルス感染症（COVID－19）

新型コロナウィルス感染症を取り巻く現在の状況は資本市場に影響を与えているが、公庫の顧客への融資には影響を及ぼしていない。市場が完全に閉鎖された場合でも、公庫の総流動性資金により非常に長期にわたり貸付が影響を受けない状態を持続させることが可能である。公庫の全ての業務は、従業員の所在にかかわらず遂行することが可能である。

２【資本構成】

デンマーク地方金融公庫の資本構成

	2020年6月30日現在 （百万デンマーク・クローネ）
発行債券（注１および注２）	216,443
デリバティブの公正価値	10,668
その他の負債、年金および税を除く負債合計	**227,111**
その他の負債、年金および税合計	1,251
負債合計	**228,362**
持分	
2020年１月１日現在の持分	8,179
税引後当期利益	145
2020年６月30日現在の持分	**8,324**
資本合計	**236,685**

注 (1) 指数連動債に関して、残高は指数変動による調整を含む。
(2) 外国通貨による借入は、2020年６月30日の実勢為替レート、あるいは2020年中の借入に関しては実行日の為替レートにより、デンマーク・クローネに換算されている。

2020年６月30日以降、公庫の資本構成に重大な変化はなかった。

３【組織】

理事会

2020年１月１日以降において下記の変更があった。

2020年６月１日より（就任）

ビアギド・オーゴー・スヴェンスン　独立の構成員

経営陣チーム

2020年１月１日以降において下記の変更があった。

2020年１月15日より（就任）

ヒリーネ・ヴィンテン　ジェネラル・カウンセル（法務部門長）

ヨーナス・トフト・モンソン　ディレクター（リスク部門長、最高リスク責任者）

2020年上半期中およびそれ以降において、公庫の組織にその他の重大な変更はなかった。

4【経理の状況】

2020年１月１日から2020年６月30日までの期間の中間財務書類は、公庫の独立監査人であるデロイト公認会計士パートナーシップのAnders Oldau GjelstrupおよびBjørn Würtz Rosendal（国家の承認を受けた公認会計士）によりレビューされ、さらに省により任命された監査役であるThorkil Juulによりレビューされている。

2020年および2019年６月30日現在または2020年および2019年６月30日に終了した６か月間の公庫の中間財務書類(レビュー済)は、以下のとおりである。

2020年１月１日から６月30日までの期間についての
包括利益計算書

（単位：百万デンマーク・クローネ）

	注記	2020年 上半期	2019年 上半期
受取利息		863	917
支払利息		-642	-667
純受取利息		**221**	**250**
その他の営業利益		5	7
その他の営業費用		-8	-7
管理費用		-67	-62
価値調整前当期利益		**152**	**187**
金融商品の価値調整		35	218
税引前当期利益		**186**	**405**
当期利益課税額		-41	-89
当期利益		**145**	**316**
その他の包括利益			
保険数理上の損益		0	0
当期包括利益		**145**	**316**
計上先は以下の通り：			
持分への組入		145	316
合　計		**145**	**316**

2020年６月30日現在の財政状態計算書

資　産　　（単位：百万デンマーク・クローネ）

	注記	2020年 6月30日現在	2019年 12月31日現在
信用機関への債権	3	9	5
貸付	3	182,523	176,983
リース		8,175	7,982
証券ポートフォリオ	3	37,609	44,982
デリバティブ	3、4	8,196	6,610
その他の資産		137	338
当期税金資産		35	35
資産合計		**236,685**	**236,935**

負　債　および　持　分　　（単位：百万デンマーク・クローネ）

負　債	注記	2020年 6月30日現在	2019年 12月31日現在
信用機関への債務		256	244
発行債券	3	216,443	218,932
デリバティブ	3、4	10,668	8,327
その他の負債		498	746
年金債務	6	0	0
当期税金負債		20	31
繰延税金負債		476	476
負債合計		**228,362**	**228,756**
持　分		**8,324**	**8,179**
負債および持分合計		**236,685**	**236,935**

2020年１月１日から６月30日までの期間についての持分変動計算書

（単位：百万デンマーク・クローネ）

	注記	2020年 上半期	2019年 上半期
持分			
１月１日現在の持分		8,179	7,736
持分への組入			
当期利益		145	316
その他の包括利益			
保険数理上の調整		0	0
その他の包括利益に対する税額		0	0
その他の包括利益（税引後）		**0**	**0**
持分への組入合計		**145**	**316**
６月30日現在の持分		**8,324**	**8,052**

当期包括利益は公庫の定款に従い持分（資本）に組入れられる。

持分は、2019年度末の81億7,900万デンマーク・クローネから2020年６月30日現在には83億2,400万デンマーク・クローネに増加した。2020年度上半期末において、資産合計に対する持分の割合は3.5%となり、2019年度末から変動がなかった。

公庫に適用される法的枠組みの下では、持分は負債合計の少なくとも1.0%（すなわち22億8,400万デンマーク・クローネ）に等しくなければならない。理事会の目標は、資産に対する持分の割合を公庫の活動を支えるために適切と考えられる３%に少なくともすることである。

2020年１月１日および６月30日現在の持分には、200万デンマーク・クローネの再評価準備金が含まれている。

2020年１月１日から６月30日までの期間についての
キャッシュフロー計算書

（単位：百万デンマーク・クローネ）

	注記	2020年 上半期	2019年 上半期
税引前当期利益		186	405
減価償却費、償却費および減損費用		1	1
営業利益		**187**	**406**
純受取利息		-221	-250
受取金融収益		863	917
支払金融費用		-642	-667
納付税額		-52	-60
貸付の増加		-5,734	-8,424
その他の資産		201	-16
その他の負債		-248	-137
営業活動からのキャッシュフロー		**-5,832**	**-8,637**
資産の取得等		0	-1
証券の変動		7,373	763
投資活動からのキャッシュフロー		**7,373**	**762**
発行債券の変動		-2,504	8,220
デリバティブ金融負債		2,341	2,149
デリバティブ金融資産		-1,586	-2,883
財務活動からのキャッシュフロー		**-1,750**	**7,486**
現金・現金同等物残高の変動		**-22**	**17**
信用機関への預け金		5	2
信用機関への短期債務		-80	-440
１月１日現在の現金・現金同等物残高		**-75**	**-439**
信用機関への預け金		9	15
信用機関への短期債務		-107	-437
６月30日現在の現金・現金同等物残高		**-98**	**-422**

注　記

注記１　会計方針

一　般

本中間報告書の対象期間は、2020年１月１日から同年６月30日までである。

中間報告書は、欧州連合（EU）が採用している国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」および追加的な中間報告開示要件に従い表示されている。

別途記載されていない限り、中間報告書の金額は全て百万デンマーク・クローネ単位で記載されている。記載されている合計額は、四捨五入前の実際の金額に基づき計算されたものである。金額は百万デンマーク・クローネ単位に四捨五入されているため、個別の金額の合算額と合計表示額とで多少の差額が生じる場合がある。

会計方針は、2019年度の年次報告書で適用されている方針と同一である。会計方針の全容は年次報告書を参照のこと。

会計方針の変更点

2020年事業年度以降に発効し2020年度の財務報告に影響を与えると考えられる新規のまたは改正された国際財務報告基準（IFRS）および解釈指針はない。

重要な会計上の見積りおよび判断

中間財務書類の作成において、経営陣は多くの会計上の見積りおよび判断を行う。この見積りおよび判断は、経営陣が合理的かつ現実的であると判断した仮定に基づき会計方針に従ってなされるが、これらは本質的に不確実で予測不能である。会計上の見積りおよび判断は、過去の実績および将来の状況の評価が確実に反映されるよう、継続的なプロセスによりテストおよび評価される。

公正価値の算出が市場で直接観測できないインプットに基づく場合、および反対の影響が示されない場合、会計上の見積りおよび判断は財務書類に重要な影響を有するとみなされる。

特に、債券サーキットを構成しない発行債券の評価に関する見積りおよび判断は、財務書類に影響を与える可能性がある。これらの債券には活発な市場が存在せず、結果としてその評価には重要な会計上の見積りが用いられる。

一部のデリバティブの評価に用いる見積りおよび判断もまた、市場で直接観測可能な価格が存在しないことから、財務書類に影響を与える可能性がある。一般に認められているキャッシュフローモデルの観測可能なインプットで代用されている。

債券サーキットを構成しないローンの評価において、観測可能な市場が存在せず、それゆえ公庫は独自のさしあたりの貸付価格を市場価格として適用している。

その他の全ての金融商品について、その評価に重要な見積りは含まれていない。これらの商品には、活発な市場における相場価格が存在するか、または適用される見積りに重要な会計上の影響がないためである。

2019年度の年次報告書と比較して会計上の見積りに変更はなく、金融商品の公正価値に関する会計判断および見積りの決定のために適用される方法および原則の全容は、2019年度の年次報告書に記載されている。

COVID-19は、公庫の経営成績または財政状態に重大な影響を及ぼさなかった。追加情報については、management's review（訳者注：英文Interim Report First Half 2020における「management's review」という項目を指す。）に記載されている。

注記２　貸借対照表日後の事象

貸借対象表日後に生じた重要な事象はない。

注記３　公正価値

IFRS第13号に従い、公正価値で測定される金融商品は、その評価に用いられる方法およびデータインプットによって、公正価値についてのレベル１から３の階層に分類されなければならない。公正価値は、金融資産または金融負債が測定日において市場参加者の間で取引されうる価額である。

公正価値は、以下の階層に従い測定される。

レベル１：

同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格。

レベル２：

類似の資産もしくは負債についての活発な市場における相場価格に基づくか、または観測可能なインプットにより実質的に基礎付けられるその他の評価手法に基づく、観測可能なインプット。

レベル３：

評価が観測可能なインプットによっては実質的に基礎付けられていない、観測不能なインプット。

レベル２およびレベル３の公正価値は、一般に認められているモデルに基づき評価される。公庫は、A）流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格、ならびにB）全ての見積りキャッシュフローおよび固定キャッシュフローをゼロクーポン・イールド・カーブ、金利の期間構造およびオプション・モデルを用いて割り引く割引キャッシュフローモデルの双方を用いている。

A）公庫は、発行債券および債券発行により調達された資金による貸付の一部につき、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の債券の上場市場での価格を用いており、これを債券サーキットという。債券サーキットは、モーゲージに係る均衡原則に基づいていることで特徴づけられ、公庫が発行した債券の基礎的条件が債券発行により調達された資金による顧客への貸付にそのまま反映され、公庫が決定した貸付マージンが加えられる。

これらの債券は全てナスダック（コペンハーゲン）で発行されているが、債券はその取引頻度および取引量が不十分であるため非流動的である。したがって、上場市場での価格は使用できず、その代わりに、流動性、信用リスクおよび転換権について調整された類似の証券の上場市場での価格が用いられる。類似の証券とは、類似の特性を有するモーゲージ債または政府債である可能性がある。債券発行により調達された資金による顧客への貸付に係る信用リスクは発行債券に相応するため、発行債券の価格は債券発行により調達された資金による貸付にも用いられている。よって、価格変動は損益に影響を与えない。

B）公庫は、デリバティブ、公正価値で測定される貸付および発行債券の残りの部分につき、割引キャッシュフロー法を用いている。これらも非流動的と判断されている。

レベル２の公正価値の算出には、スワップレート、為替ベースのスワップ・スプレッドおよび為替レート等の観測可能なインプットが含まれている。公庫の実際の資金調達費用についての見積りもまた発行債券の評価に含まれる。貸付の評価には公庫のさしあたりの貸付価格が含まれる。公庫は、見積もられたさ

しあたりの資金調達費用に応じて実際の貸付価格を定期的に調整することにより、貸付マージンを相対的に一定に保つよう努めている。見積もられた実際の資金調達費用に対する感応度は、さしあたりの貸付価格の変動により一部相殺されることになる。これによると、価値調整全体による正味の影響は最大でプラス/マイナス２億5,000万デンマーク・クローネの範囲内と考えられる。

公庫のごく一部の発行債券およびデリバティブは、公正価値レベル３に分類されている。当該レベルは、発行済仕組債および関連するヘッジ・デリバティブに用いられており、そのインプットは、公正価値レベル２に適用されるインプットに加えて、通貨、株式およびコモディティのボラティリティならびにそれらの相関といった観測不能なインプットから成る。発行済仕組債はデリバティブによりミクロ・ヘッジされており、よって観測不能なインプットの変動は、発行における変動がデリバティブと逆に作用するため、利益に重要な影響を及ぼすことはない。

公庫は、金融商品を利用することにより市場リスクを解消するリスク管理戦略を追求している。この結果、レベル２およびレベル３に基づく公正価値を算出するのに用いられる見積りおよび仮定の変更による包括利益計算書および持分への影響（正味ベースでみた総額による）は縮減されており、資金調達費用および貸付価格の変動を含むにとどまる。

2020年上半期においてレベル間でいかなる組替えもなかった。

（単位：百万デンマーク・クローネ）

金融商品の公正価値の詳細

	レベル１	レベル２	レベル３	合　計
2020年6月30日現在				
資　産				
信用機関への債権	9	0	0	9
貸付	0	182,523	0	182,523
証券ポートフォリオ	37,609	0	0	37,609
デリバティブ	0	7,517	679	8,196
資産合計	**37,619**	**190,041**	**679**	**228,338**
負　債				
信用機関への債務	107	149	0	256
発行債券	0	209,668	6,775	216,443
デリバティブ	0	10,241	427	10,668
負債合計	**107**	**220,058**	**7,202**	**227,367**
2019年12月31日現在				
資　産				
信用機関への債権	5	0	0	5
貸付	0	176,983	0	176,983
証券ポートフォリオ	43,014	1,968	0	44,982
デリバティブ	0	5,796	814	6,610
資産合計	**43,019**	**184,747**	**814**	**228,580**
負　債				
信用機関への債務	80	164	0	244
発行債券	0	211,110	7,822	218,932
デリバティブ	0	7,973	354	8,327
負債合計	**80**	**219,247**	**8,176**	**227,503**

（単位：百万デンマーク・クローネ）

レベル３の公正価値の詳細

	１月１日現在	新　規	処　分	当期利益における認識額	６月30日現在
2020年6月30日現在					
資　産					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	814	0	-5	-130	679
資産合計	**814**	**0**	**-5**	**-130**	**679**
負　債					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	7,822	0	-725	-323	6,775
デリバティブ	354	0	-125	199	427
負債合計	**8,176**	**0**	**-850**	**-124**	**7,202**

	１月１日現在	新　規	処　分	当期利益における認識額	12月31日現在
2019年12月31日現在					
資　産					
信用機関への債権	0	0	0	0	0
貸付	0	0	0	0	0
証券ポートフォリオ	0	0	0	0	0
デリバティブ	747	0	-14	81	814
資産合計	**747**	**0**	**-14**	**81**	**814**
負　債					
信用機関への債務	0	0	0	0	0
発行債券	8,601	0	-919	140	7,822
デリバティブ	1,217	0	-858	-5	354
負債合計	**9,818**	**0**	**-1,777**	**135**	**8,176**

注記４　相殺

公庫は、マスター・ネッティング契約（ISDAマスター契約）にクロス取引の支払いのネッティングについての合意が含まれる場合に、外国為替取引およびデリバティブを差金ベースで決済している。差金決済の場合は、必然的に財政状態計算書においてデリバティブの会計上の価額には相殺を含めることになる。相殺総額は、2019年12月31日現在で52億8,900万デンマーク・クローネであったのに対し、2020年6月30日現在では62億8,400万デンマーク・クローネとなった。相殺額の増加は、差金決済に関して契約が締結されたデリバティブの価値が上昇したことに起因した。

ISDAマスター契約にクロス取引の支払いのネッティングが含まれない場合、財政状態計算書において会計上の価額は相殺を含まない。相殺されていないデリバティブのネッティング金額は、取引相手ごとに算出される資産および負債のうち少額である方を上限とする。かかる金額は資産および負債の双方に含まれる。

ISDAマスター契約には、デリバティブに関連する片務的または双務的担保契約が含まれる。これらの契約に基づく受入担保および差入担保は、高格付の債券のみからなる。担保価額は取引相手ごとに算出され、債券が担保として提供される金融商品の純額を上限とする。担保契約は、通常取引のためではなく専ら倒産の場合に備えて担保の相殺を認める。担保価値に対して相殺は適用されない。

公庫は、貸付、リースまたは発行債券に関して、ネッティング契約の締結および担保の差入れまたは受入れを行っていない。このため、これらの金融商品は以下の表に含まれていない。帳簿価額は財政状態計算書から引用している。

（単位：百万デンマーク・クローネ）

財政状態計算書において表示されたデリバティブ

	財政状態計算書上相殺された金額			財政状態計算書上相殺されていない金額		
	帳簿価額総額	相殺額	帳簿価額	金融商品	担　保	純　額
2020年6月30日現在						
資　産	14,480	-6,284	8,196	-886	-5,604	1,706
負　債	16,952	-6,284	10,668	-886	-6,594	3,188
純　額	**-2,472**	**0**	**-2,472**	**0**	**990**	**-1,482**
2019年12月31日現在						
資　産	11,899	-5,289	6,610	-874	-4,069	1,667
負　債	13,616	-5,289	8,327	-874	-4,359	3,094
純　額	**-1,717**	**0**	**-1,717**	**0**	**290**	**-1,427**

注記５　流動性資金

監督機関により、公庫が前四半期末現在の貸付総額の25%を限度として流動性資金を事前調達して積み立てられる旨が定められている。当期末の上限額は465億デンマーク・クローネであり、公庫の流動性資金は285億デンマーク・クローネであった。限度に対する流動性資金の割合は2020年上半期中に変動したが、各月末時点における最高の割合は16%であった。

流動性資金は、帳簿価額で計上された信用機関への債務、発行債券およびデリバティブから貸付総額およびリース債権を控除して算出される。

（単位：百万デンマーク・クローネ）

流動性資金	2020年6月30日	2019年12月31日
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ		
信用機関への債務	256	244
発行債券	216,443	218,932
デリバティブ（負債）	10,668	8,327
デリバティブ（資産）	-8,196	-6,610
信用機関への債務、発行債券およびデリバティブ合計	**219,171**	**220,893**
貸付およびリース		
貸付	182,523	176,983
リース	8,175	7,982
貸付およびリース合計	**190,698**	**184,965**
流動性資金	**28,472**	**35,928**

流動性資金は前四半期末現在の貸付総額の25%を超過してはならない。

流動性資金	28,472	35,928
前四半期末現在の貸付総額	186,146	188,371
流動性資金総額の割合（%）	**15**	**19**

注記６　年金債務

公庫は、従業員の大部分と年金制度について契約を締結している。確定拠出制度に関する債務は、それらが生じた期間において損益計算書上で認識され、支払債務は財政状態計算書のその他の負債の項目において認識される。

公庫は、確定給付制度を数名の元従業員と締結している。確定給付制度については、年間の数理計算は同制度に基づき支払われる将来の給付の現在価値（純額）で行われる。現在価値（純額）は、とりわけ給与、金利、インフレおよび死亡率などの将来的な変動についての仮定に基づき算出される。現在価値（純額）は、現在までに公庫における雇用を通じて従業員が取得した給付についてのみ算出される。

数理計算上の現在価値（純額）は、財政状態計算書の年金債務の項目において認識される。算出はデンマーク金融監督庁の死亡率および寿命の改善の基準に基づき行われている。計算基礎率の変更により生じた算出済の現在価値（純額）の調整はその他の包括利益において認識される。イールド・カーブは、デンマーク金融監督庁が金融機関に対して保険債務の測定に関して使用するよう要請しており、また自治体の公務員の予算の合意に使用される。

2019年、公庫は、年金基金サムペンションに対し年金債務を支払う選択をしたため、当該債務を財政状態計算書に認識していない。しかしながら、現在も元従業員への将来の給付に対する金融債務を有している。

注記７　主要な指標

（単位：百万ユーロ／百万デンマーク・クローネ）

	2020年上半期	2020年上半期	2019年上半期	2018年上半期	2017年上半期	2016年上半期	2019年
	ユーロ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ
当期の主要な指標							
純受取利息	30	221	250	235	341	362	496
その他の営業利益	1	5	7	6	6	5	13
その他の営業費用	-1	-8	-7	-7	-7	-6	-13
管理費用	-9	-67	-62	-62	-58	-54	-126
価値調整前当期利益	20	152	187	172	282	307	369
金融商品の価値調整	5	35	218	163	63	88	227
当期利益課税額	-6	-41	-89	-74	-76	-87	-148
当期包括利益	20	145	316	261	269	308	441
貸付およびリース	25,626	190,698	185,878	176,788	172,271	166,257	184,965
証券ポートフォリオ	5,054	37,609	42,181	45,683	42,706	35,690	44,982
資産	31,806	236,685	237,182	229,599	230,199	223,599	236,935
発行債券	29,086	216,443	216,451	207,718	210,357	204,369	218,932
持分	1,119	8,324	8,052	7,593	7,113	6,655	8,179
当期における活動							
貸付およびリース（額面価額の純増加額）	526	3,914	2,774	3,423	4,939	5,090	2,427
貸付およびリース（額面価額の総増加額）	3,215	23,926	17,995	24,067	19,008	16,670	36,745
発行債券（額面価額の総増加額）	3,609	26,855	31,762	42,871	54,741	52,090	49,699

（単位：百万ユーロ／百万デンマーク・クローネ）

	2020年上半期	2020年上半期	2019年上半期	2018年上半期	2017年上半期	2016年上半期	2019年
	ユーロ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ	デンマーク・クローネ
資本構成							
リスク・エクスポージャー総額（REA）（注）	1,857	13,817	14,366	19,926	9,699	7,582	11,911
普通株式等Tier1（CET1）資本	1,119	8,324	8,052	7,593	7,113	6,655	8,179
自己資本	1,097	8,165	7,851	7,340	6,590	6,450	7,997
自己資本比率（%）（注）	59	59	55	37	68	85	67
資産合計に対する持分の比率（%）	3.5	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.5
財務比率（要約）							
貸付およびリースにおける損失	0	0	0	0	0	0	0
資産に対する管理費用の比率（%）	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.05
資産に対する純受取利息の比率（%）	0.09	0.09	0.11	0.10	0.15	0.16	0.21
流動性資金の割合（%）	15	15	18	22	24	18	19
正規従業員数	79	79	74	69	69	67	76

（注）表の形式が変更されたため、各期間の数値は直接比較可能ではない。

主要な指標および財務比率は、デンマークCFA（公認証券アナリスト）協会（CFA Society Denmark）により発行された「勧告および財務比率」に従い算出されている。

2020年６月30日現在の為替レート：100ユーロ＝744.156デンマーク・クローネ。

第３【外国為替相場の推移】

(1)【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2)【最近日の為替相場】

該当事項なし